

今、青春！鮮やかな山車の灯の下で！ 第34回 八雲山車行列

イベント開催以来初の雨による延期となった第34回八雲山車行列ですが、7月1日と3日に無事開催され、両日で18団体と実行委員会の山車計29台が行列に参加しました。開会式では、今回、30回目の出場となる雲っ子・エネック・美建が30回出場賞を受賞しました。また、今年は、パフォーマンスをする団体のほか、引き手にもさまざまな企業や団体等が参加し、八雲町内で北海道新幹線工事に携わる企業や、7月から旧黒岩小学校を利用し活動する社会福祉法人なども参加し、祭りを盛り上げました。また、最終日には、駅前にてY-Girls♥、夢翔舞八雲が踊り、フィナーレでは観客・参加者が若衆音頭で一体となり祭りを楽しみました。

30回出場賞
雲っ子・エネック・美建



大賞 八雲マリア幼稚園



大賞 テスク&祭人



北海道新幹線開業& パノラマ10周年記念事業！ アニバーサリーイベント

浜松地区に道立公園噴火湾パノラマパークが開園して10年経ったことと、北海道新幹線が開業したことを記念し、今年はパノラマパークを舞台にさまざまなイベントが開催されます。6月25日、スタートイベントとなるアニバーサリーイベントが開催され、会場では、地域の産業やまちづくりにかかわる団体により、さまざまな催しが行われました。会場ではどどん鼓座の演奏のほか、ガーデン教室や毛ガニ争奪じゃんけん大会、新鮮な海鮮が並ぶ漁師の店ややくもっちいともちつき囃子、牛乳の無料配布など来場者は八雲ならではのイベントを楽しみました。



八雲の未来をわたしたちが考える！ 野田生中学校まちづくり ゲストティーチャー

7月7日、野田生中学校3年生が総合的な学習の時間で、八雲町未来予想図パンフレットを作り、八雲町はどのようなまちになったら良いのか自分たちでまちづくりについて考える授業が行われました。1回目に講師として役場の職員が八雲町の現状の授業を行い、生徒たちがアイデアを凝らしたパンフレットを作成し、2回目に同じ講師が生徒たちの発表を聞き、講評を行いました。生徒たちは、八雲町の課題を踏まえた発展的な計画について講師と真剣に意見を交わし、まちの未来について考える時間となりました。

